

未 来 寄 合

出会い・ふれあい・語り合い～みらいよりあい

次のステップに向けた交流会を開催しました

5月18日（土）の午前、岩倉市役所 2階さくらん坊にて、「未来寄合～NEXT カフェ」を開催。参加者は、市民や事務局スタッフなど 32名でした。

このカフェの目的は、各小学校区で開催してきた「未来寄合」、その後の「全体フォーラム」を踏まえ、次のステップに向けた交流やつながりづくりです。市長あいさつ
のあと、事務局からこれまでの未来寄合のふりかえりや、今年度の進め方を説明。さらにペアになって名札づくり、自己紹介などアイスブレイクで打ち解け合い、メインは、一人ひとり話したい「テーマ」を持ち寄ってテーブルに分かれ、20分×3ラウンドのおしゃべり。最後は、全員で輪になって気づきや感想などの「収穫」を分かち合いました！



市長あいさつ



久保田市長

地域運営の仕組みをどう変えていくか？一緒に考えていきたい！

少子高齢化や経済の状況など、社会の流れが大きく変わっていく中で、地域を運営する仕組みは昔のまま。担い手不足などの課題を解決して、もっと暮らしやすい地域にしていくためには、新しい仕組みをつくっていかねばいけないんじゃないかと思っています。

これまで未来寄合で小学校区ごとに話し合っていたき、地域課題や、それぞれの地域の特徴も随分わかってきました。次のステップでは、これらの課題を解決するためにはどうしたらいいかみなさんと一緒に考え、「岩倉ならではの答え」の導き方を探していきたいと思います。

「これまで」を「これから」に

これまで…未来寄合から見てきたこと

- ・各小学校区で3回ずつ未来寄合を開催。地域の強みと弱みを出し合い、解決策を考える中でそれぞれの特徴も見えてきました。
- ・共通していた課題「地域のつながり」や「担い手不足」に対して、「多世代で交流できる場所があるといい」、「回覧物のIT化ができるといい」、「準備委員会を立ち上げて様々な可能性について話し合いをしてはどうか?」、「人や組織をマッチングする仕組みがあるといい」などのアイデアが提案されました。
- ・フォーラムの講演では「まちづくりに特効薬も万能薬もない。小さなトライ＆エラーを繰り返し無理なく続けられる方法を見つけることが大事」、「誰も経験したことのない課題を解決するには人やネットワーク、アイデアの総動員が必要」といったお話が印象に残りました。



この未来寄合を通して、地域課題の解決のためには「自助・互助・公助」のどれ一つ欠けてもいけないということ、未来を見据えた地域のあり方を考えていく必要があることが見えてきました。そして、幸せに暮らし続けられるまちをつくっていくために、これからもみなさんとの「対話」を続けていきたいと感じています。



協働安全課 植手さん



これから…方針 & 令和6年度の進め方

- ・みなさんからいただいたアイデアを実現していくためには、**どんな組織があると良いか？地域課題の解決と行政区の負担軽減につながる新たな地域のあり方**をみなさんと一緒に考えていきたい。
- ・そこで、今年度は**モデル地区（小学校区）でのアンケート調査とワークショップ開催**を予定。
- ・アンケートは、地域の課題解決に対して地域住民のみなさんが何を重要と考えているかを伺いたい。また、役員や役員経験者のみなさんには地域への思いや改善策を伺いたい。
- ・ワークショップは、地域で自分事として考え、参加、協力してくれる住民を増やしていきたいです。

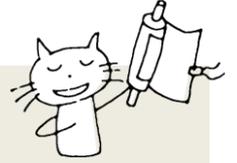
おしゃべりカフェ



自分→
おしゃべりの相手探し。
おしゃべりしたいテーマを書き
ながら
話し合いたいテーマ
(以下は一部)
↓



4～5人でテーブルに座り、話したいテーマを決めておしゃべり。途中2回メンバーチェンジをしながら、全部で3ラウンドの意見交換をしました。



居場所・交流・イベント・仲間づくり

- ・市内のイベントで高齢者の役割づくり
- ・日常的に人と知り合える仕掛け
- ・広く&濃く仲間づくり
- ・周りの方々の声かけが必要！
- ・小さなコミュニティが繋がる場
- ・マルシェなど自由に参加できるイベント
- ・子ども食堂+老人食堂=地域食堂をしたい。自由な感じでできるといい
- ・アーティストの拠点と高齢者向け講座の拠点と兼ねる
- ・骨董市で幅広い人の交流
- ・地域を巻き込んで映画
- ・空き家を使ったイベント
- ・知らぬ間に健康になるような居場所
- ・麻雀、健康づくり、いろんな国の料理…交流のきっかけ
- ・空き家・公民館を使いやすく

自治会・担い手

- ・マニュアル作り
- ・やれるところから進めていく
- ・次の体制へつなぐことをしていく
- ・マッチング！
- ・役員は楽しいと発信
- ・やる気のある自治会に手厚い支援
- ・IVC(岩倉ボランティアサークル)と協力
- ・老人会ヤング(新設)が、老人会シニアをお手伝い

まちづくり

- ・いろいろな年代が楽しめるまちづくり
- ・将来を見据える
- ・若い人が住めるように
- ・高齢者の知恵を活かす
- ・小中学生を活かす
- ・桜の集客UPで市の経営を良く！

解決できる地域課題を探したい！	まちづくり ×健康づくり
子どもと高齢者の居場所づくり	実際に動ける組織づくり
50年後の岩倉市とそれまでの道のり	地域人材を みつきたい！
いろんな年代が楽しめるまちづくり	役員のなり手
区のIT化、結ネットのスタートアップ	働けるまち 桜で集客日本一



ハーベスト(収穫のわかちあい)

- 日本語サポートを岩倉団地でもやりたいので、アイデアがほしい。
- ここに集まっている人、ひとり一人が核になって、小学校区関係なくつながっていくところから進んでいければいい。
- 子どもと高齢者の居場所づくりをしている。同じことを考えている人がこんなにもいるんだと感じられてすごく良かった。
- アートの仕事をしている。行政に頼らず自分達で運営できる小さい拠点を少しずつ増やしていけたらいいなと思っている。
- 今日、いろんな特技を持っている方と会えた。そういう人たちの力を「未来寄合人材バンク」みたいな形にできるといい。
- 岩倉を舞台に映画を作り、映画を使って交流が生まれたい。
- 「ちょこっと使える空き家バンク」というのがあっていいのかも！
- 情報共有に課題があることがわかった。初めて行く人のハードルを下げるため、同伴したり、参加しやすい雰囲気をつくるのが大事。
- 3年目。そろそろ収穫したい。サークルをつくりながら実際に動いていかなければ、今年の収穫が間に合わないんじゃないか。今日のことも踏まえ次のステップへ ほか



ひとことアンケートより

初参加でしたが、オープンに話せる空間だったのでざっばらんに話せた／区長は市と地域をつなげるとても大切な役割。やりがいがあるのに大変なイメージが強すぎる。もっと楽に楽しくできるようになると良い／岩倉の現状を知れて良かった／ここに来るクセ者(良い意味で)のつながりが何かを産む原動力になると感じた／いろんなことをやっている人がいて本当に素敵だと思いました。未来寄合発の取り組みが生まれることを願っています！／いいアイデアがいつもたくさんあるけれど、実行がまだ。自分も含め、とにかく始めるのが大切／皆さんのやる気が見える会合であった。早く次のステップへ…何かテーマを1つ決めませんか ほか

岩倉市役所 協働安全課(須藤・植手)

TEL (0587) 38-5803

FAX (0587) 66-6380

✉ kyoudouanzen@city.iwakura.lg.jp